プラグイン型絶縁信号変換器 MS3300 シリーズ 取扱説明書

文書番号: MQDDK-050808-3

Rev 2.2

この度は、MTT 製品をご採用いただき、誠に有難うごさいます。

現品をお受け取りになりましたら、まず、本機の仕様がご注文通りのものであることを、現品 の表示ラベルの記載でご確認下さい。万一、仕様の誤りや、輸送上、その他の原因による損傷 などが発見されました場合には、速やかに、弊社営業所またはお買い求め先にご連絡下さいま すようお願い申し上げます。

弊社製品はすべて、厳格な品質管理基準に基づいて製造されておりますので、ご安心の上、お 使いいただけるものと存じます。

記 保証期間と保証範囲

〔保証期間〕

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後3ヶ年といたします。

〔保証範囲〕

上記保証期間中に弊社の責により故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換、 または修理を弊社の責任において行います。

ただし、つぎに該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- (1) 需要者側の不適当な取扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- (3) 弊社以外の改造、または修理による場合。
- (4) その他、天災、災害などで、弊社の責にあらざる場合。

なお、ここでいう保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘 発される損害はご容赦いただきます。

万一不良品が発生した場合は無償で修理致します。なお不良箇所につきましては、 解析の上ご報告致します。

1. はじめに

この取扱説明書は、エムティティ株式会社(以下 MTT)のプラグイン型 2 出力絶縁信号変換器「MS3300 シリーズ」の設置および操作方法を説明するものです。

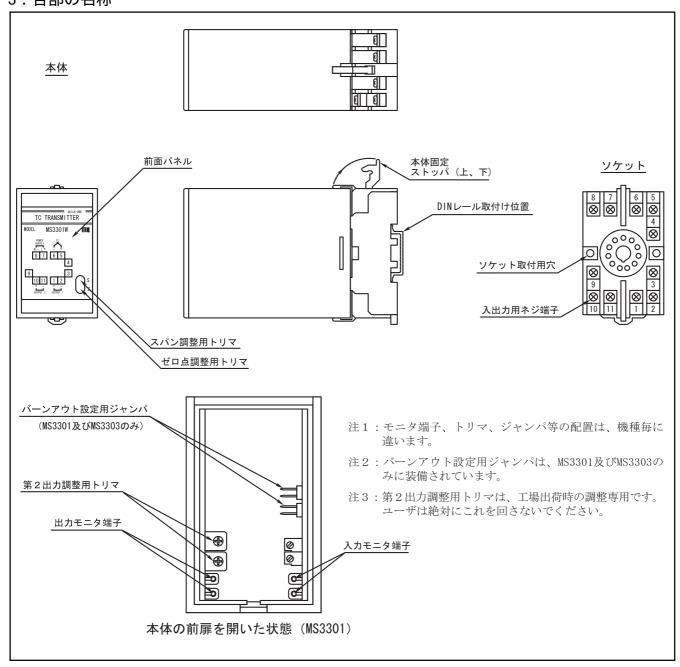
2. 製品概要

MS3300 シリーズ

MS3300 シリーズは、高耐圧、高精度、高信頼性を特徴とする小型プラグイン構造の2出力絶縁信号変換器です。 入力 - 出力 - 電源 - 大地、それぞれの間は、ともに2,000V AC という高い絶縁耐力を保持しています。 (出力相互間の絶縁耐力は500V)

湖のシリーズは、広汎な用途に対応するため多種多様なモジュールが用意されています。

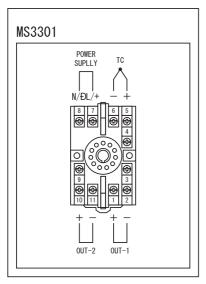
3. 各部の名称

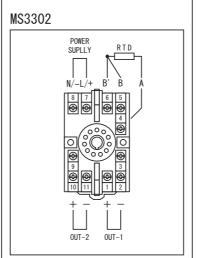


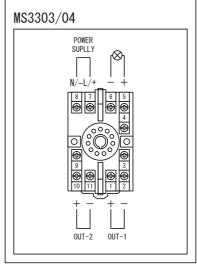
4.接続の方法

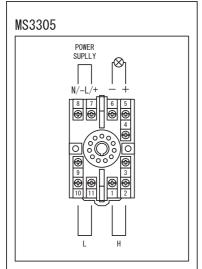
各信号変換器に対する入力・出力・駆動電源の接続は、各信号変換器ソケットのネジ端子に対して行います。 機種ごとの端子配列については、以下の図をご参照ください。

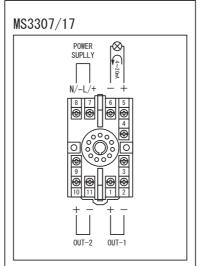
第1出力タイプの場合、図中の OUT-2 は N.C.と読み換えてください。 MS332OS-01 の図中の OUT-2 は N.C.と読み替えてください。

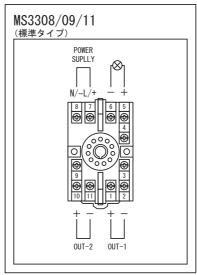


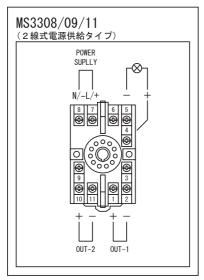


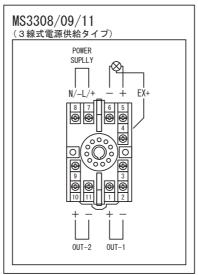


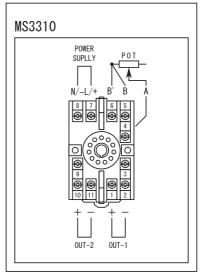




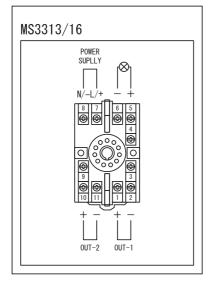


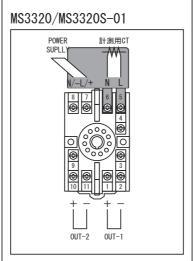


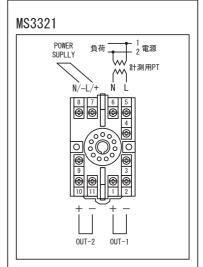


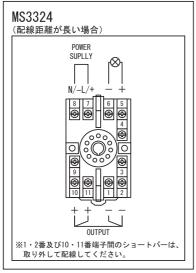


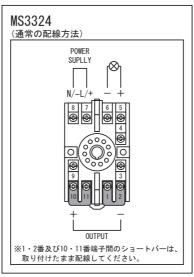
4.接続の方法(続き)

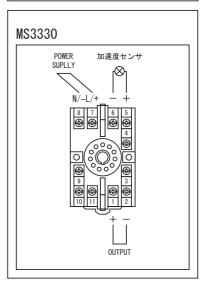


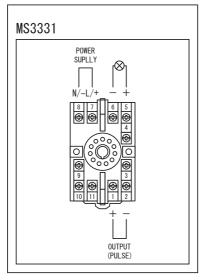


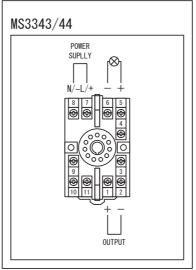


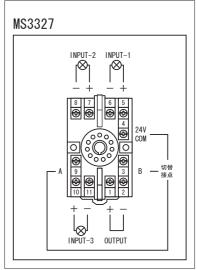




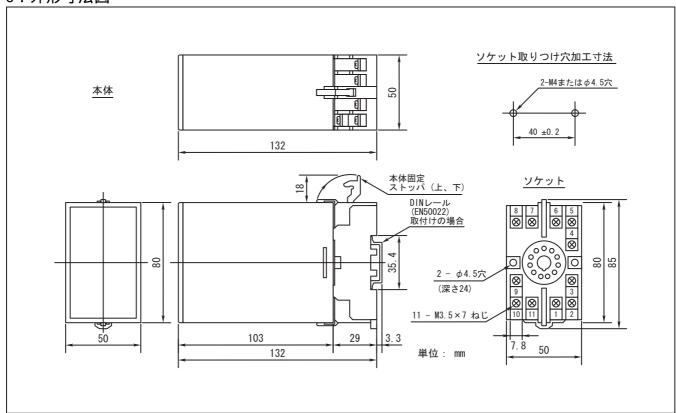






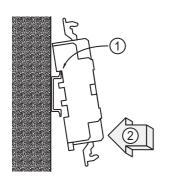


5. 外形寸法図



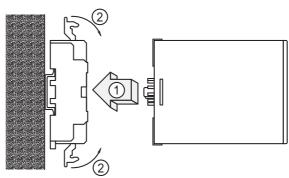
6. DIN レールとの着脱

ソケットの取り付け



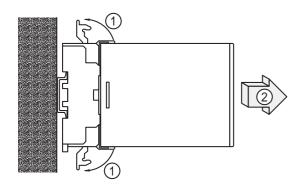
ソケット基盤についているレールホルダ (黄色の部分)を下にして、その反対方 向にあるツメをレールに引っ掛けてから ソケットを図のように嵌め込み、レール ホルダをかけて固定します。

本体のソケットへの装着



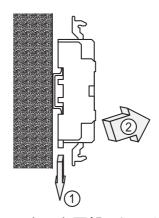
本体の上下方向を確認して、ピンをまっすぐ挿し込んだ 後、ソケットの上下についているストッパ・フックを本体 ケース上の孔にかけてロックします。

本体のソケットからの取り外し



ソケットの上下で本体を固定しているストッパ・フックを、 図のように起こして、本体をまっすぐ手前に引きます。

ソケットの取り外し



ソケット下部のレールホルダの溝にマイ ナス・ドライバ等を挿し込み、それを下 方に押しながらソケットの下部を手前に 引きます。

7. 使用上のご注意

本機の設置は、ホコリ、金属粉、水分、腐食性ガス、振動等の存在しない場所に行ってください。 これらの環境は製品の劣化を招き故障の原因になります。

電源、入力信号、出力信号の配線は、ノイズ源やリレー駆動、高周波ライン近くには行わないでください。 これらのノイズにより誤動作や故障を起こすことがあります。

本機による計測に先立って、念の為、約30分間のウォーミングアップを行ってください。